

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(24年12月分)

1. 調査実施期間 平成24年 11月20日 ~12月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

12月分の回答企業数は28社、回収率は70.0%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = {(「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合)} ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		25/1月	25/2月	25/3月
仕入動向	国産材	-13.0	-4.3	0.0
	外材	-3.7	-5.6	-14.8
販売動向	国産材	-10.9	-17.4	-10.9
	外材	0.0	-7.4	-11.1
在庫動向	国産材	-9.1	-11.4	-11.4
	外材	-5.6	-7.4	-14.8

仕入れは、年始の休みに加え、外材は一部品薄、価格上昇等もあってマイナスで推移、国産材は先行き不透明で3月に向けマイナス幅縮小しゼロに。
販売も同様で、国産材はマイナス基調で推移、外材は1月のゼロから3月に向けマイナスに。
在庫は、先行き不透明で、国産材、外材ともマイナス基調で推移。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	25/1月	25/2月	25/3月
スギ正角(グリーン)	0.0	0.0	3.6
スギ正角(KD)	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	7.1	3.6	3.6
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	3.6	3.6	0.0
米マツ平角	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	12.5	9.4	0.0
ホワイトウッド集成管柱	20.6	17.6	6.3
レッドウッド集成平角	10.0	13.3	10.0
型枠合板(輸入)	13.3	13.3	16.7
針葉樹構造用合板	0.0	13.3	13.3
針葉樹構造用合板(厚物)	3.6	14.3	14.3

スギ正角(グリーン)、スギ正角(KD)、ヒノキ正角及びヒノキ土台角とも保合で推移、スギ正角(グリーン)のみ3月にやや強保合。
米ツガ正角、防腐土台角及び割物はやや強保合ないし保合で推移。
米マツ平角は、保合で推移。
北洋アカマツタルキはやや強含みから3月に向け保合に。
WW集成管柱、RW集成平角とも強含みないし、やや強含みで推移。
合板は、輸入合板は強含みで推移、構造用合板及び構造用(厚物)は保合ないしやや強保合から3月に向け、強含みに。

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>米マツ一般材丸太では米国内需要の盛り上がり、中国向け配船の継続等により米国物 11 月積み輸出価格は全アイテムで値上げ、カナダ物もオールドからセコグロまで強含みで推移。(東京：米材問屋)11月末と12月中旬頃新規入荷があり一息つける。中級品が若干の値上がりに留まっているのに高級品は大幅値上げを呑まされている。(東京：米材問屋)</p> <p>外材の仕入れが難しくなってきた。全体に上げ相場。内地材は下げ相場。(東京：集成材問屋) 良い物を買うつもりだが良材の品物が少ない。(東京：集成材等問屋)流通在庫が減少し仕入れがやりにくい。(東京：外材問屋)</p> <p>1月のセール向けの製品が国産材、外材共入荷予定。(東海：外材問屋)</p> <p>円安のため様子を見ている状況、コストを売値に転嫁できず逆ざや状態。(東京：南洋・中国材問屋)産地は雨季入りで出材少なく中国の買い付け量増加で強含み。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>進んで仕入れようと思うことはない。(東京：仲買・小売) どの樹種も良材は少ない。価格より質を重視して仕入れている。(東京：仲買・小売)</p> <p>外材は値上がりしそうなので多めに仕入れる。(大阪：仲買・小売)</p>
販売動向	<p>米マツ一般材丸太京浜マーケットでは公共建築物を中心とした注文材製材に生き残りかけた中小製材メーカーの丸太消費量の減少傾向に歯止めが掛からず、問屋の販売面でもメーカーの在庫を見ながらの商売が続いている。(東京：米材問屋)中級品については12月中旬入荷予定にも係わらず12月上旬時点で完売状態。高級品については25%の値上げ予想で、さすがに二の足を踏む向きが多い。(東京：米材問屋)</p> <p>外材は好調、内地材は減少。これから季節要因で販売は落ちそう。(東京：集成材問屋)仕入れがややしにくい状況で、価格は強含みだが、販売の方は、なかなか厳しい。(東京：集成材等問屋)10月～11月の売れ行きは多少良かった。(東京：外材問屋)</p> <p>荷動きは良くなっている。外材の一部に品不足。(東海：外材問屋)</p> <p>造作の仕事少なく、平割の荷動きは悪い。集成材は値上がりを見越して在庫でも買う動きがある。(東京：南洋・中国材問屋)相変わらず急ぎの仕事が多いが、価格は一向に伸びない。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>スギ柱角は需給とも細ってくる傾向が続いている。(東京：国産材等問屋)スギ柱の動きがやや良い。(東京：国産材問屋)秋需で荷動きは良くなってきたが価格を押し上げる勢いは無い。(東京：国産材問屋)</p> <p>相変わらず販売は今イチ、とはいえ大きく悪くもない。(東京：仲買・小売)新築物件は一服状態。リフォーム物件は多少あるが皆遠距離。保育園、幼稚園関係が多い。(東京：仲買・小売)売上が極端に落込み事業の継続すら危うく。(東京：仲買・小売)年明けの見積が多数来ている。決まれば、かなり動くと思う。(東京：仲買・小売)対前年同月比では10月、11月の販売額は増加、一時期よりは少し動きかけている様子だが、いつまで続くのか。(大阪：仲買・小売)年末を控えリフォームも少なく仕事量減少。(大阪：仲買・小売)年末特需もなく全く変化なし。(大阪：仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>米マツ一般材丸太の京浜港への本船入荷は2カ月連続して入荷なしの状態が続いている。不良在庫も見られず新規入荷のサイクルが伸びている。(東京：米材問屋)高級品は若干在庫が増える見通しながら今後、高級品の入荷は全く予定がないことから暫く在庫するつもり。(東京：米材問屋)外材の仕入れは増えないので全体的に減少すると思われる。(東京：集成材問屋)油断していると欠品してしまうので注意深く在庫を確認している。(東京：外材問屋)</p> <p>北欧の羽柄材、米材のKD割物が品不足。(東海：外材問屋)</p> <p>仕入れを抑えているため在庫は少ない。(東京：南洋・中国材問屋)全体の在庫量は少ないが、バランスは取れているようだ。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>年末決算に向け在庫整理。(東京：仲買・小売)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	荷動きの状態によっては価格上昇。(東海：外材問屋)
ヒノキ正角 土台角	荷動きの状態によっては価格上昇。(東海：外材問屋)
米ツガ	荷動きの状態によっては価格上昇。(東海：外材問屋)
米マツ平角	現在は無風ですが集成梁が上昇すれば値上がりもある。(東京：外材問屋)荷動きの状態によっては価格上昇。(東海：外材問屋)
北洋アカマ ツタルキ	荷動きの状態によっては価格上昇。(東海：外材問屋) 良材品薄だが、価格は変わらない。(東京：仲買・小売) 入荷減で価格上昇。(大阪：仲買・小売)
WW・RW 集成材	輸入材の減少で価格は強含み。(東京：集成材等問屋)12月から値上がり。年明けも上がる可能性あり。(東京：集成材問屋)集成平角は完全に値上げムード。(東京：外材問屋)メーカー受注多く値上げは必至。1月以降WW柱1,550円/本、RW平角48,000円/m3程度か。(東海：外材問屋) 品不足が価格にも影響してきた。(東京：仲買・小売)W.Wは強い。(東京：仲買・小売) W.W割物は価格10%上昇。(大阪：仲買・小売)
合板	メーカーは1月以降値上げを打診。(東海：外材問屋) 上がる上がるの声だけでなかなか上がらない。(東京：仲買・小売) 品薄、価格上昇。(大阪：仲買・小売)